

第123回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第122回火山噴火予知連絡会（平成24年2月29日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

○ 全国の主な火山活動

今期間（平成24年2月29日～6月26日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんでした。桜島、諏訪之瀬島及び硫黄島で噴火が発生しました。また、三宅島ではやや多量の火山ガス放出が継続しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上3,500m、大きな噴石の最大到達距離は昭和火口から約2kmでした。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が2回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2）〕では、やや多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕では、島西部の旧噴火口でごく小規模な水蒸気爆発が断続的に発生しました。また、4月下旬に島の北東沖で海底噴火が発生した可能性があります。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

【本件に関する問い合わせ先】
気象庁 地震火山部 火山課
電話：03-3284-1749

各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① アトサヌプリ [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 雌阿寒岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 大雪山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 十勝岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いており、火山活動の推移に注意が必要です。

⑤ 樽前山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・地震活動、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要です。

⑥ 倶多楽 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 有珠山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 北海道駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 恵山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 秋田焼山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 岩手山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・5月19日から20日にかけて、岩手山山頂直下のやや深いところ(深さ6~8km)を震源とする低周波地震が一時的に増加しましたが、火山性地震は少ない状況で経過しています。また、低周波地震が増加した時間帯には、継続時間約4分20秒の火山性微動も発生しました。
- ・地殻変動や表面現象に変化は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・めだけ女岳では、2009年から地熱域の拡大が引き続き認められています。
- ・地震活動や地殻変動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

⑤ 鳥海山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 栗駒山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 蔵王山 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 吾妻山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・大穴火口の噴気の高さは50~300mで、依然としてやや活発な状態が続いていますが、4月頃からは低下傾向も認められます。夜間に高感度カメラで明るく見える現象は2011年11月15日以降観測されていません。
- ・5月14日の現地調査では、大穴火口北西側下部で新たな噴気孔を確認し、噴気孔の周囲には硫黄と見られる黄色の昇華物も確認されました。遠望カメラによる観測では、ここからの噴気は3月中旬以降に観測されるようになり、噴気の高さは50m以下で経過しています。八幡焼付近の地表面温度分布には特段の変化は認められませんでした。
- ・火山性地震は2012年2月までやや多い状況でしたが、2012年3月に減少してその後も少ない状態が続いています。
- ・地殻変動観測では、火山活動によると考えられる特段の変化は認められませんでした。
- ・ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒が必要です。また、風下側では火山ガスに注意が必要です。

⑨ 安達太良山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 磐梯山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 日光白根山 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下しています。
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 草津白根山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・湯釜火口付近や湯釜の南を震源とする振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が時々みられました。
- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね500mの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要です。

④ 浅間山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震は、2010年4月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は、2010年3月以降やや少ない状態で推移しています。
- ・山体周辺のGPSによる地殻変動観測では、2009年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- ・火山活動は2010年4月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から500mの範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒が必要です。

⑤ 新湯焼山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 弥陀ヶ原 [噴火予報(平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震(2011年3月11日)以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
- ・立山室堂に臨時に設置した地震計による観測では、弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で推移しました。
- ・立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスに注意が必要です。

⑦ 焼岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）以降、山頂直下から北麓～北西麓の浅い所で地震活動が活発な状況となりましたが、その後地震活動は低下してきています。
 - ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑧ 乗鞍岳 [噴火予報（平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑨ 御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑩ 白山 [噴火予報（平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑪ 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]
- ・東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。2011年3月15日に山頂の南南西約5km、深さ15kmを震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード6.4、最大震度6強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
 - ・その他の観測データで異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。
 - ・なお、富士山3合目（山頂の北西約6km）で、2012年2月10日にかすかな湯気が確認されましたが、4月及び5月の現地調査では湯気は認められず、温度の異常や硫黄臭も認められませんでした。
- ⑫ 箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑬ 伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
- ⑭ 伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]
- ・長期的には、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。
 - ・GPSによる地殻変動観測では、2011年10月から伸びがみられましたが、2012年の初め頃から、わずかに縮みの傾向がみられます。また、体積ひずみ計による地殻変動観測では、2011年11月中頃から停滞傾向がみられましたが、2012年1月に入り縮みの傾向がみられます。
 - ・火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ⑮ 新島 [噴火予報（平常）]
- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑯ 神津島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑰ 三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。噴火は2010年7月21日を最後に発生していません。
- ・火山性地震は、2010年9月以降少ない状態です。
- ・GPSによる地殻変動観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなりながら現在も継続しています。一方、深部の膨張を示す地殻変動は続いています。
- ・二酸化硫黄放出量は、2012年2月以降は1日あたり400～900トンで、長期的には緩やかな減少傾向にあるものの、やや多量の火山ガス放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺(雄山環状線内側)では噴火に対する警戒が引き続き必要です。風下にあたる地区では火山ガスに警戒が必要です。

⑱ 八丈島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑲ 青ヶ島 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑳ 硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

- ・島西部の旧火口(通称:ミリオンダラーホール)で、2012年2月上旬、3月上旬及び4月上旬にごく小規模な水蒸気爆発が発生しました。
- ・4月27日から28日にかけて、地震活動が活発化するとともに、通常より大きな島全体の隆起を観測しました。28日以降、地震活動はやや低下傾向になり、島内の地殻変動も隆起から沈降に転じました。29日以降は火山性微動が断続的に発生しました。29日から30日にかけて島の北東沖で変色水域が確認され、同海域で海底噴火が発生した可能性があります。5月4日以降、地震活動や火山性微動の発生は共に低調となりました。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

21 福徳岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報(平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 九重山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 阿蘇山 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山性地震及び孤立型微動は少ない状態ですが、2月頃から、わずかながらも増加傾向を示し、4月9日～12日には一時的にさらに増加しました。また、4月22日には、振幅は小さいながらも火山性連続微動が発生しました。
- ・湯だまり量は4月中旬までは9割でしたが、その後徐々に減少し、5月には6割、6月中旬には3割になりました。表面温度も4月上旬は60℃程度でしたが、4月中旬頃からゆるやかに上昇し、6月上旬には約70℃となり、わずかながらも上昇傾向が続いています。噴湯現象は2月までは確認されませんでした。3月以降は湯だまり中央部付近で確認されるようになりました。なお、土砂噴出は確認されていません。
- ・南側火口壁の最高温度も、4月中旬頃からわずかに上昇しています。それに伴って、4月下旬以降、夜間南側火口壁の一部に赤熱現象を確認しています。
- ・二酸化硫黄の平均放出量は1日あたり500～800トンと、2011年6月～2012年2月の観測(500トン以下)に比べてわずかに増加しています。
- ・以上のように中岳第一火口の火山活動は、わずかながらも高まる傾向がみられていることから、今後の火山活動の推移には注意する必要がありますが、今のところ火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡(中岳第一火口から西南西約6km)の噴気の勢いはやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

④ 雲仙岳 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 霧島山

新燃岳 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

- ・2011年9月7日の噴火以降、噴火の発生はありませんでした。
- ・GPS観測結果では、新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びの傾向は、2011年12月頃から鈍化し、2012年1月以降、ほぼ停滞した状態が続いています。
- ・傾斜計では、新燃岳直下の膨張を示す変化は認められませんでした。
- ・火山性地震はやや多い状態が続いていましたが、3月頃からやや減少し、5月に入ってさらに減少し、少ない状態となっています。
- ・新燃岳火口の噴煙高度は、3月以降ほとんどが火口縁上50m以下で、噴煙活動の低調な状態となっています。
- ・二酸化硫黄の平均放出量は、1日あたり300トン未満と引き続き少ない状態でした。
- ・防衛省、鹿児島県及び宮崎県の協力を得て実施した上空からの観測では、新燃岳火口内に蓄積された溶岩の大きさ(直径約600m)や形状及び周辺の噴気の状態に特段の変化はなく、主に溶岩の北側及び東側から、白色の噴煙が上がっていました。
- ・2011年2月以降、2008年8月の噴火時に形成された西側斜面の割れ目で、白色のご

く弱い噴気と、赤外熱映像装置による観測で、やや温度の高い部分が確認されました。

- 以上のように、新燃岳の火山活動は2012年2月までの活動に比べて低下した状態となっています。しかしながら新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには相当量のマグマが蓄積されています。また、新燃岳直下の火山性地震の活動や火山ガスの放出も少ないながらも続いており、火口には高温の溶岩が溜まっていることから、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。また、今後、マグマの供給が再開すれば、昨年1月下旬から2月上旬の本格的な噴火の規模に匹敵または上回る新たな噴火活動の可能性はあります。
- 新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に留意してください。降雨時には泥流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に留意してください。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）]

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←平成24年3月12日及び3月21日に火口周辺警報を発表し、警報事項を切り替え（噴火警戒レベル3（入山規制）は継続）しました。

- 昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。爆発的噴火の発生回数は、2月～5月までで376回で、5月には発生頻度がやや減少しました。これらの噴火による噴煙の最高高度は火口縁上3,500mでした。3月12日には大きな噴石が昭和火口から約2kmに達し、また3月22日及び5月21日には、火口周辺にとどまるところ小規模な火砕流が発生しました。
- 南岳山頂火口では、ごく小規模な噴火が時々発生しました。
- 昭和火口で夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。
- 噴火により放出された火山灰の総噴出量は、1～4月までで251万トンで、2011年9月以降やや多い状態が続いています。
- 島内設置の傾斜計、伸縮計およびGPSでは、2011年後半から山体が隆起・膨張する傾向となっていました。この傾向は2012年2月頃から停滞しています。火山灰の放出量と地殻変動量から導いたマグマの供給量は、2011年9月頃から増加した状態で経過しました。
- GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による長期的な変化が引き続き観測されています。
- 以上のように、桜島直下へのマグマの供給量は増加した状態で経過しました。5月には爆発的噴火の発生頻度が少なくなり、やや活動が低下したものの、依然として活発な状態が継続しています。今後の火山活動の推移に注意してください。
- 昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

⑦ 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

- 硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。

- ・ 噴煙の高さは火口縁上概ね200m以下で経過しました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では噴火に対する警戒が必要です。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

⑧ 口永良部島 [噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)]

- ・ 火山性地震及び火山性微動は少なく、噴煙の高さは火口縁上概ね100mで、火山活動は低調に経過しました。
- ・ 火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

⑨ 諏訪之瀬島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)]

- ・ 火山性地震及び火山性微動は少ない状態で経過しています。
- ・ 御岳火口では、今期間爆発的噴火が2回発生するなど、長期にわたり活発な噴火活動が続いています。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1 kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

注) 噴火警戒レベルは平成24年6月26日現在、29火山に導入しています。

全国の活火山の噴火警報及び噴火予報発表状況

地方	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	雌阿寒岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年9月29日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年10月17日 噴火予報 (平常) 2008年11月17日 火口周辺警報 (火口周辺危険) 2008年12月16日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常)
	大雪山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	十勝岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年12月16日 噴火予報 (レベル1、平常)
	樽前山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	倶多楽	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	有珠山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年6月9日 噴火予報 (レベル1、平常)
	北海道駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	恵山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
東北地方	岩木山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	秋田焼山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	岩手山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	秋田駒ヶ岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年10月27日 噴火予報 (レベル1、平常)
	鳥海山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	栗駒山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	蔵王山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	吾妻山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常)
	安達太良山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	磐梯山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
関東・中部地方・伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2009年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	日光白根山	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	草津白根山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2009年4月10日 噴火予報 (レベル1、平常) 切替
	浅間山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (レベル1、平常) 2008年8月8日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月1日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月3日 火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月7日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年4月15日 噴火予報 (レベル1、平常)
	新潟焼山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	弥陀ヶ原	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	焼岳	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2011年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)
	乗鞍岳	噴火予報 (平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常)
	御嶽山	噴火予報 (レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報 (平常) 2008年3月31日 噴火予報 (レベル1、平常)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
関東・中部・伊豆・小笠原	白山	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	富士山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	箱根山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2009年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常) 2011年3月31日 噴火予報(レベル1、平常)
	伊豆大島	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	三宅島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	八丈島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	青ヶ島	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日 火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日 噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(平常)	2007年12月1日 噴火予報(平常)
	九重山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日 噴火予報(レベル1、平常)
	雲仙岳	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	霧島山(新燃岳)	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常) 2008年8月22日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年10月29日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年3月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年4月16日 噴火予報(レベル1、平常) 2010年5月6日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年1月26日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2011年1月31日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年2月1日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2011年3月22日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	霧島山(御鉢)	噴火予報(レベル1、平常)	2007年12月1日 噴火予報(レベル1、平常)
	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年2月20日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年7月14日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2008年8月28日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年2月19日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2009年3月10日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2009年4月24日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2010年9月30日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日 火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2012年3月12日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替 2012年3月21日 火口周辺警報(レベル3、入山規制)切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

	火山名	現在 (ここで示すレベルは噴火警戒レベルである)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	口永良部島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴は、2007年12月1日以降のものを記載しています。

上記以外の活火山では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

地方	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

* 天頂山と雄阿寒岳は2011年6月7日に活火山として追加し、噴火予報（平常）を発表しました。

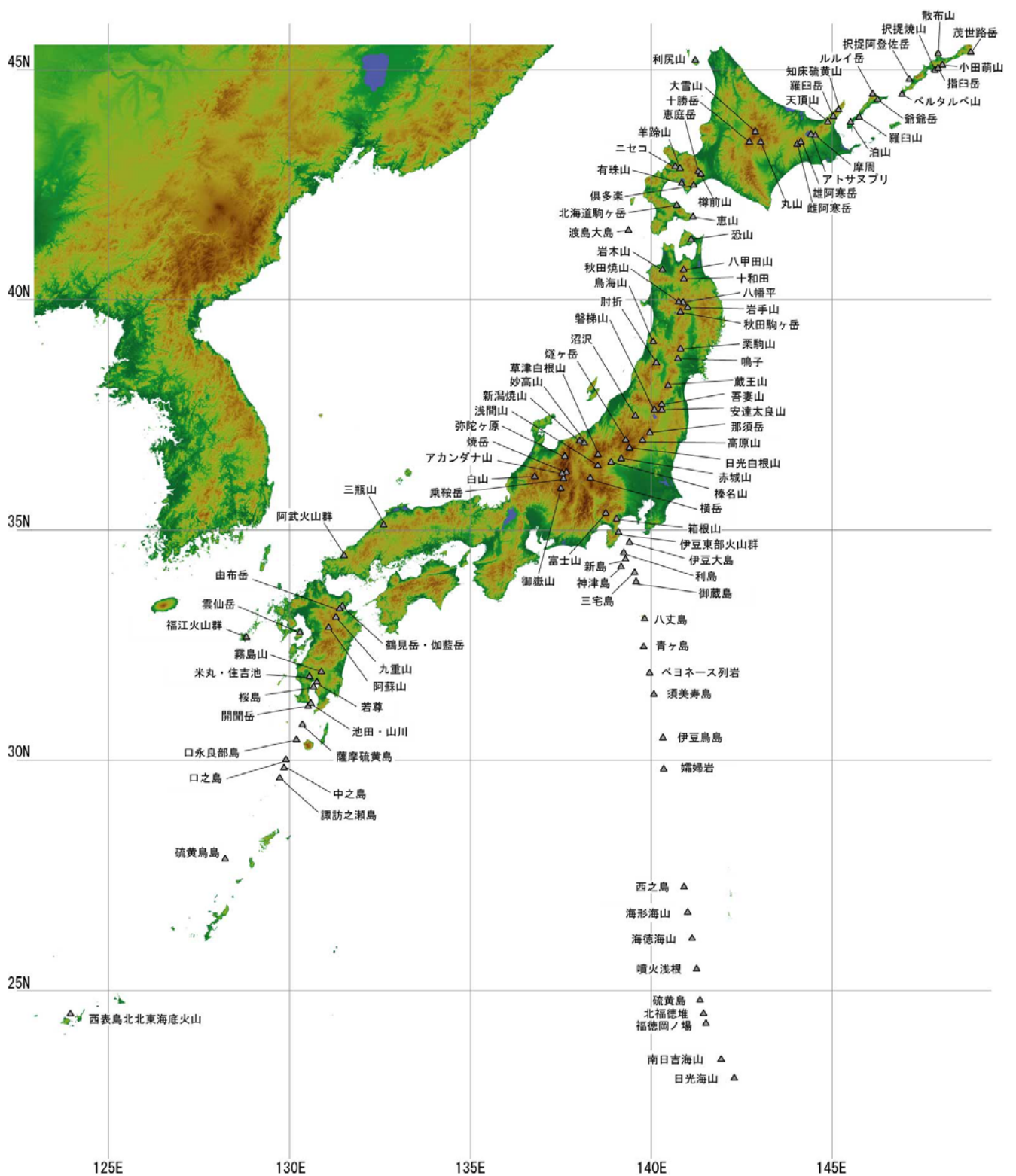


図 全国の活火山分布